



Web Fairy Paradise

第41号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第38回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第50回 推理将棋出題

結果発表

- ・ 第37回 WFP フェアリー作品展
- ・ Fairy of the Forest #29
- ・ 第49回 推理将棋出題

読み物

- ・ 詰将棋の設計(神無太郎)
- ・ WFPの打歩ばか詰(神無太郎)

がんばろう！日本



2011/11

はじめに



愛犬 JII 君は 11 月 9 日で生後 5 ヶ月になりましたが体重が 6kg を突破しました。こんなに重くなっているのでしょうか？最近仕事場(事務所)までチャンスがあればやってくるので解図の邪魔をされることしばしばです。機会を見てはちょーえりと共に写真を撮りまくっているのですが顔が黒くてなかなか旨く撮れませんねえ。ちょーえりが JII 君を抱いた写真できれいに撮れたものもあるのですが、JII 君はともかくちょーえりの写真写り(これ、しわが目立つからダメとか...)チェックが厳しくなかなかお披露目が出来ません(笑)

今まで原稿編集は B5 サイズで設定して行っていたのですが、いろいろと不具合が出て手間がかかるため今回より A4 サイズで編集しました。イラストのサイズとかいろいろ前回よりも異なるところも出ていますし、プリントアウト時にこれまでと異なる操作になるかもしれません。ご了承下さい。

日記にも書きましたが、左上腕二頭筋を肉離れしてしまいました。いつなったか不明ですが(接骨院の先生曰く、重い荷物を持ったとか何かを引っ張ったとかしないと普通ならないはず)左腕が肩より上に上げられず不便この上なし。バドミントンは右腕だから大丈夫だろうと金曜日練習に行ったらスウィングする際、バランスをとるため左腕を上げないといけなかったためまともに出来ないことが分かりました。25 日には試合があるのですがどうなることやら・・・。

ちなみに PC はマウスが右手でキーボード打つのも肩から上に腕を上げないので問題なし。不幸中の幸いでした。皆さんも気をつけましょう。

【募集】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも 4 コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト 10、自己紹介、何でも OK です。

感想

第 41 号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん : takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々の HP アドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供 : 幻想素材サイト First Moon

<http://www.first-moon.com/>

表紙のイラストを使用させて頂いております。

まえがき（雑談）と今回の出題について

Come in a city row.

さて、上の文章は何でしょう。えっ、よく分からない？ では、次の文章はどうですか？

Free care, cowards to become Ms. Note.

これを発音すると「古池や蛙飛び込む水の音」に聞こえませんか？ 実は最初の文も、「神無七郎」に似た音の単語を並べたものです。この疑似英文を英文読み上げソフトに読ませると、まるで英語圏の人がカタコトの日本語を喋っているように聞こえます。英文読み上げソフトは珍しいものではありませんが、ここでは Web 上で読み上げができ、音声をファイルとして保存できるものを紹介しておきましょう。

AT&T 研究所の英文読上げページ

http://www.research.att.com/~ttsweb/tts/demo.php

日本語の単語や文章を英単語の羅列で近似するのは、英語の勉強(?)になるかもしれませんし、パズルとしても面白いと思います。もし、有名な「掘った芋いじるな(What time is it now?)」に匹敵するような「作品」ができれば、私にも教えてください。

さて、今回の出題は神無太郎氏のマドラシ作品群とたくぼん氏の Isardam (マドラシになる手を禁止するルール)、そして一乗谷酔象氏の推理将棋です。

38-1 と 38-2 はともに非標準駒数で、「持駒∞」は飛角金銀桂香歩を無限に持っていることを示します。ただ、今回は問題設定から明らかのように「金」以外は関係しません。

推理将棋は前回の一乗谷酔象氏作の続編。例の亀山杉友氏作とは最終形が異なります。難問なのでヒントを追加しておきましょう。「最終形の玉位置は亀山杉友氏作とは異なります！」

なお、次号の WFP 作品展出題はお休みです。次回の出題は来年の 1 月号となりますので、ご承知おきください。

解答要項

解答締切：2011 年 12 月 15 日 (木)

宛先：janacek789@ybb.ne.jp

メールの件名に「解答」の語句を入れてください。

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。(原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載します。)宛先は解答と同じ janacek789@ybb.ne.jp へ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。f m 検討済みなら.fmo 形式のファイル添付を推奨します。

ルール説明

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める

【マドラシ】

同種の敵駒が互いの利きに入ると、利きがなくなる

【成禁】

詰手順中に駒を成る手があってはならない

【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイトにする

【スタイルメイト】

王手は掛かっていないが合法手のない状態

【Isardam】

同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。

玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない。(タイプA)

【推理将棋】

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する

■ 38-1 神無太郎氏作

マドラシ協力詰 7 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
									王	八
										九

攻方持駒金4

受方持駒∞

■ 38-2 神無太郎氏作

マドラシ協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									王

攻方持駒金4
受方持駒∞

■ 38-3 神無太郎氏作

マドラシ協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

持駒 金

■ 38-4 神無太郎氏作

マドラシ協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

持駒 銀

■ 38-5 神無太郎氏作

マドラシ協力詰 15手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

持駒 金 歩

■ 38-6 神無太郎氏作

マドラシ成禁協力詰 13手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

持駒 桂

■ 38-7 神無太郎氏作

マドラシ成禁協力詰 21手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

持駒 桂 歩

■ 38-8 神無太郎氏作

マドラシ協力自玉スタイルメイト 14手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
								王	六
									七
									八
				王					九

持駒 銀

■ 38-9 神無太郎氏作

マドラシ協力自玉スタイルメイト 20手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				王				王	五
									六
									七
									八
									九

持駒 金

■ 38-10 たくぼん氏作

Isardam協力詰 15手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
								王	九

持駒 金歩

■ 38-11 一乗谷酔象氏作

推理将棋『至高のスタイルメイト』

博士「君も腕を上げたな。今度は私が先手番でいいね」

助手「はい。では。お願いします」

・・・29手目先手の着手の後、
30手目後手の手番で・・・

助手「負けました。

まだ、詰まされていないけど後手に指す手がないから仕方ありません。

21手目に初王手をかけられたところではまだまだと思ったんですけど・・・

馬で取られた駒を27手目に三段目に打たれてしびれました。

私のどの手が悪かったのでしょうか」

博士「4手目と8手目に香の手を指した序盤が甘かったね。でも、君のおかげで『至高のスタイルメイト』が完成したよ」

さて、至高のスタイルメイトとはどのような将棋でしょうか？

二人の会話を元に推理してください。

条件

- 1) 29手目を指した局面がスタイルメイト (30手目の後手番で指す手がない)
- 2) 4手目と8手目は香の着手
- 3) 21手目は初王手
- 4) 27手目は、馬で取った駒を三段目に打つ手

以上



推理将棋第50回出題 担当：DD++

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第50回出題です。はじめての方は どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門 (http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をご覧ください。解答、感想はメールで2011年11月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第50回解答」でお願いします。

推理将棋第50回出題 担当 DD++

祝・50回！ 11月は1並びということで今回は推理将棋の花形、手数+1条件問題を並べてみました。

初級はKGさんお得意の「別の手を指した」問題。手順に関する直接の情報がないので、形が思いつかないとドロ沼かも。中級はチャンプさん作。手数は長くとも趣向と同じように解答まで真っ直ぐ迫れるはず。上級は私が以前詰工房で一部の方に披露して評判がよかった作品のお蔵出し。

15手問題が2つありますが、どちらもかなりキツイ条件がかかっており、十分に手を出せる難易度のはずです。ぜひ怖がらずに挑戦してみてください。

■練習問題

「さっきの将棋、▲76歩△42銀▲33角成△52飛▲43馬△33桂まで見てたけどどうなった？」

「9手で詰んだよ、って言えば残りの3手は分かるよね」

さて、残りの3手はどんな手だったでしょうか。

第

■本出題

・50-1 初級 KGさん作

泣く王がよかった 8手

7九玉と指すことができた局面はどんな局面？

・50-2 中級 チャンプさん作

直進流 15手

もちろん玉の尻や隣筋もちゃんと逃げ道を封じてください。

・50-3 上級 DD++作

南無三！ 15手

先手はたった8手で3回の歩成。どうやって実現しましょう。

■50-2余詰のお知らせ（11月15日 DD++）

渡辺さんから、中級問題に余詰解を頂きました。粗検深くお詫び申し上げます。修正はチャンプさんより内容をいただき次第掲載致します。なお、解答につきましては、作意・余詰とも正解とさせていただきます。

■50-2余詰のお知らせ（11月17日 DD++）

中級問題の修正として、「成らずに」を追加させていただきます。解答者の方々にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

■締め切り前ヒント（11月16日 DD++）

それでは締め切り前ヒントです。

初級：問題の局面での玉位置は？ 6八玉型では7九玉を指さないと8手では詰みません。

中級：後手は5筋しか着手しません。玉尻の塞ぎ方は2つに1つ。

上級：先手歩成は全て異なる段。10手目の歩打ちが鍵を握ります。

50-1 初級 KGさん作

泣く王がよかった 8手

師匠「ほい8手目、これで詰みじゃ」

弟子「ま、負けました」

弟子「師匠、どこがいけなかったのでしょうか？」

師匠「うむ、あそこじゃな」

(局面を何手か前に戻す)

師匠「ここで『▲7九玉』と指していたらもつと粘れたであろう」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 8手で詰んだ
- ・ 先手は「▲7九玉」と指せる局面で別の手を指した

50-2 中級 チャンプさん作

直進流 15手

少年A「将棋には真っ直ぐ進める駒が多いよねー。」

少年B「そりゃまあ角と桂以外の駒は進めるからね・・・って今更何を言い出すんだい？」

少年A「いやね、昨日▲7八銀△5四歩から始まった将棋を見かけたんだけど。」

少年B「変な出だしだね・・・。それがどうかしたの？」

少年A「実はその後もお互いが駒を成らずに直進する手だけを指し続けて15手で詰んだんだよ。」

少年B「それは何とも皮肉な将棋だね。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 15手で詰んだ
- ・ 初手から▲7八銀△5四歩以下お互いに駒を成らずに直進する手だけを指した

50-3 上級 DD++作

南無三！ 15手

「さっきあつちで『南無三！』って叫んでたけど何があったの？」

「3枚も歩を成って、たった15手で詰ませたものだからつい。」

「『南無三！』ってことは、成った場所は7筋と6筋と3筋？」

「うん。順番はバラバラだけどね。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 15手で詰んだ
- ・ 先手は7筋、6筋、3筋（順不同）で歩を成った

■練習問題解答

問題以下、▲33同馬△62銀▲43桂まで。この手順は桂吊るしの最短手順で、特徴的な形なので作図例も多い手順です。52に飛を持ってきた上で銀をピンするのがミソ。

また、3手目に33の歩をかじっておき、6手目33何か、7手目同角（馬）という手順は9手詰でよく見られるので覚えておいて損はないでしょう。この手順では桂でしたが、銀でも金でも角でも飛でも以下のようにこの手筋の9手詰手順が存在します（飛の場合取るのが33でなく34ですが）。

募集要項 (再々々掲)

銀：▲76歩△42銀▲33角成△62飛▲43馬△33銀▲同馬△52玉▲43銀

金：▲76歩△52玉▲33角不成△42金▲88角不成△33金▲同角不成△62金▲51金

角：▲76歩△52玉▲33角不成△62金▲88角不成△33角▲同角不成△44歩▲34角

飛：▲76歩△32飛▲33角成△42金▲43馬△34飛▲同馬△72金▲61飛

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科		帝	王	帝			皇	一
			將	將	將		馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	桂	馬	歩	歩	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩2

推理将棋の問題も募集しています

このコーナーで出題する問題を募集します。入門用の易しい問題を歓迎。作者名、問題、解答、狙いなどを記入して「推理将棋投稿」の題名でTETSUにメール(omochabako@nifty.com)してください。

投稿締切：2011年12月4日(日)
 出題開始：12月20日(火) <WFP第42号掲載>
 解答締切：2012年1月29日(日)
 結果発表：2月20日(月) <WFP第44号掲載>
 手数・ルール：6手以内のフェアリー作品。
 出品数：1人2作以内。

出題方法など：作者名は伏せた上で全局一斉出題。評価点の平均で作品の順位を決定する。不完全作は失格(自動最下位)。

評価方法：ABCの3段階評価。A=3点、B=2点、C=1点、誤解=3点、無解=計数除外。

作品審査：基本的に無審査としますが、fm検討の環境がない方の作品検討には協力します。

投稿先：(jigsawbox@gmail.com)

(ブログ

<http://fourth-of-may.cocolog-nifty.com/blog/>

にメール送信フォームを設置予定)

☆前回(2年前)との相違は、

- 1) 手数が6手以内(前回は7手以内)、
- 2) フェアリーなら全ルール可(前回は協力詰系のみ)

の2点です。その他は第1回のルールを踏襲しますが、不明な点については遠慮なくお問い合わせ下さい。

小峰耕希

第37回WFP作品展結果 担当:神無七郎

今回は一乗谷氏の作品が予想通りの難問で、全題正解者はゼロとなってしまいました。

まずは解答成績のまとめをご覧くださいませしょう。

〔第37回WFP作品展解答成績〕(敬称略)

○:正解 -:無解

解答者名	1	2	3	4	5	6a	6b	7	計
たくぼん	○	○	○	○	○	○	○	-	7
小峰	○	○	○	○	○	○	○	-	7
変寝夢	○	○	○	○	-	○	○	-	6
占魚亭	○	○	○	○	○	-	-	-	5

解答者は4名。まだまだ少ないですが、小峰さんの解答復帰や、占魚亭さんの参加で、前回より2名増えました。全題解けなくても構いませんから、解けた分だけでも解答を送ってくださるようお願いいたします。

逆に腕に自信がある(でも全題解く時間はない)人は、他の人が解けなさそうな問題だけ狙い撃ちで解くことを推奨します。「正解者1名」は結構格好良いですよ。

■ 37-1 神無太郎氏作 (正解4名)

協力詰7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
			歩						二
									三
		歩	王	銀	銀				四
									五
			銀						六
									七
									八
									九

持駒なし

【ルール】

• 協力詰

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める

【解答】

43 銀直生 53 玉 42 銀生 44 玉
43 銀成 54 玉 53 銀成 まで 7手

(詰上り)

									一
				歩					二
				全	全				三
			歩	王					四
									五
				銀					六
									七
									八
									九

持駒なし

【解説】

この形では7手で玉を下段に落として詰めることはできません。早目に中段玉での詰上りに的を絞り、銀2枚を成銀に変える詰上りを想定するのが解図の要諦です。ただし、この形の実のため、2枚の銀が均等に2回ずつ動くのではなく、3回と1回に不均等に動きます。この辺りは、作者が素直な手順を意識的に避けたのかもしれない。初形と詰上りを比べると2枚銀が斜めに移動し裏返っており、形の変化を楽しめる作品です。

なお、52歩は3手目52銀成とする非限定を防ぐ配置です。この手順を防ぐだけの配置なので少し勿体ないように思います。

【短評】

小峰さん

詰上りが1つしか思い浮かばないので、そこに合流するように考えた。

たくぼんさん

2枚の銀が共に成る形式美ですね

占魚亭さん

ウォーミングアップに最適の快作。

変寝夢さん

こういうのは、5二歩の意味を考えることに意義がある。

3四銀を5二銀にするのはどうですか？

☆なるほど、銀の斜め移動はなくなりますが、この案だと駒が1枚減らせて、初形「÷」になりますね。詰将棋はただ単に解くだけではなく、「この配置の意味は？」とか「自分だったらどうする？」など、いろいろ考えることで、より楽しめます。試しに私もこの作品

を元にツイン（というほどでもない）を考えてみました。皆さんも自分流のアレンジを考えてみてください。

(参考図)

a) 銀が元の位置で裏返る

(本当は2枚の駒が入れ替わっている)

協力詰7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
			銀	銀	王				四
									五
	銀								六
			銀						七
									八
									九

持駒なし

b) 銀が元の位置で裏返る

(2枚とも元の位置に戻る)

協力詰7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
			銀	銀	王				四
									五
	銀								六
			銀						七
									八
									九

持駒なし

■ 37-2 神無太郎氏作 (正解4名)

協力詰17手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
			香				香		二
				香					三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒なし

【解答】

21 香成 12 玉 11 杏 22 玉 32 香成 23 玉
33 杏 24 玉 34 杏 13 玉 24 杏 22 玉
12 杏 32 玉 33 杏 31 玉 22 杏寄 まで 17手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						王			一
					香		杏		二
						杏			三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒なし

【解説】

前局は銀2枚が裏返る作品でしたが、今度は香2枚が裏返る作品です。初形と詰上りを比べると、玉だけが移動し、香2枚がその場で裏返ったように見えます。

このタイプの作品は飛躍した手がない代わりに、個々の紛れを比較して、最も効率の良い手順を求める丁寧さが要求されます。地味な作業ではありますが、本局では最後の最後に「なるほど」と思える形が出現するので、曲詰を解いた時のような解後感が味わえるのではないのでしょうか。

ところで、筆者がこれで連想したのが「第19回神無一族の氾濫」の第2番で神無太郎氏が見せてくれた、二枚銀が相手方に寝返るという作品です。(http://k_7ro.abz.jp/overflow.html#19を参照してください。)

この作品には「裏切りの銀二」という開発コードネーム(命名にあらず)が与えられていて、たぶん本局の「成る」よりは難度が高いはずです。おそらく、本局も作者にとってはほんの手すさびでしょう。

【短評】

小峰さん

33と22の香が裏返っただけで元の位置に戻るのが作者の主張でしょうか。

☆37-1と同じ時期の投稿なので、おそらくそうだと思います。

変寝夢さん

この手の作品が一番苦手（パラでは加賀さんとか）。今回は例えば必ず非限定になる形は読まないなどずるいテクニックを駆使して頑張りました。1二杏がポイントか。

たくぼんさん

先手の駒位置が変わっていない所が狙いの1つですね。美しいです。

占魚亭さん

3手目と11手目に少考。

■ 37-3 変寝夢氏作（正解4名）

キルケ協力詰5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
				龍					三
				王					四
				角					五
				龍					六
									七
									八
									九

持駒なし

【ルール】

•キルケ

駒取りがあったとき取られた駒が、最も近い将棋での指し始め位置に戻される。

【解答】

55龍 35玉 34角 同玉/88角 25龍 まで5手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
				龍					三
				王					四
							龍		五
									六
									七
									八
	角								九

持駒なし

【作者のコメント】

苦手なキルケを少しでも克服しようと創ってみました。5手の方の狙いは初手～3手目の短い動きで6手のそれは全手順転生(?) あります。

【解説】

まず初形の綺麗な「1」の字に惹かれますが、形だけの作品と思ったら大間違い。ましてや「初手は開き王手」と決めつけると思わぬ大苦戦をする羽目になります。

初手の開き王手はたくさんありますが、「キルケ」の特徴を考えると、初手34角として、これを玉で取らせて88角と復活させ、この角筋を活かして詰めることが考えられると思います。ところが、この後3手ではどうやっても詰めることができません。

正解は55龍、35玉として縦型のバッテリー（走り駒の利きを味方の駒で止めた形）を崩して横型のバッテリーに組み直す手順です。ここで先程読んだ「34角、同玉/88角」の手順を実行するのが構成の妙。4手目の局面では龍が角筋を塞いでいますが、ここで龍を開くことによって角の利きが一気に通ります。最後は龍が自分自身にヒモを付けるキルケらしい詰上り。もちろん、25龍を玉で取ることはできません。取ったはずの龍が28飛として復活して、自分自身に王手を掛けることになるからです。

開き王手に限らず、利きが遮断された形から、遮蔽駒を移動して利きを解放する手には爽快感があります。しかも、本作は最後の最後までそれを行わず、バッテリーを別のバッテリーに組み替える作業を2度も行います。このじれったい手順が最終手の爽快感を一層増しており、とても効果的な演出になっていると思います。

【短評】

小峰さん

最終形はすぐ見えたのだが、初手角移動ばかり考えてしまって遠回り。

たくぼんさん

一瞬角が消えて、復元しても龍の影になっているので詰上りが見えにくい。

占魚亭さん

開き王手から考えて苦戦。

■ 37-4 変寝夢氏作（正解4名）

キルケ協力自玉詰6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
								科	七
		龍			龍	桂			八
王	龍							王	九

持駒なし

【ルール】

・協力自玉詰

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【解答】

89 龍/71 銀 38 龍/29 桂 37 桂/21 桂 同龍/29 桂
同桂/82 飛 89 飛成/28 飛 まで 6手

(詰上り)

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
							桂		八
								飛	九
王	龍							王	九

持駒なし

【解説】

作者のコメントにもあるように、全着手で「キルケ」による復活が生じる作品。89 銀はそのためだけの駒（なくても初手 89 龍は限定）なので、無理やりっぽい気もしますが、良くも悪くも初志貫徹というところでしょうか。

この作品でもう一つ注目すべきは、受方の手がすべて1枚の駒（龍及び復活した飛）であることでしょう。もし、受方の龍がすぐに89に届く位置にあれば、2手で詰みますから、龍の周遊を挟むことにより、回りくどくその形を実現するわけです。龍の周遊のうち最初の2回は、共に相手駒を合駒の代わりに使う「魔女返し」の手筋で、これを利用して更に周遊コースを伸

ばす方法もあると思います。

作者は「苦手なキルケを克服するために」と仰っていますが、これは正解だと思います。創作は最も効果的な解図力向上の手段です。音楽の世界ではショパンが「練習曲」と称して、自分の演奏・作曲能力の向上のための作品群を作り、その中から芸術的価値の高い作品が多く生まれました。詰将棋でも「練習局」の創作を行うことは、解図・創作能力を向上させる良いトレーニングになると思います。

【短評】

小峰さん

下図の方が良いと思う。更に改善する方法もあるかも知れません。

キルケ協力自玉詰6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
								科	七
							龍	桂	八
王								王	九

持駒 飛

☆私も全着手復活にこだわるより、この方が良いと思います。この図を出発点に、様々な方向へ発展できる可能性がありますね。

たくぼんさん

全て復元するとは凄い。

先手の駒で合駒をする（何か名前があったが思い出せない）のに気づかず結構考えました。

☆「魔女返し」（神無三郎氏命名）ですね。

この手筋を最大限活用した、神無太郎氏と神無八級氏の合作「ポエニクス」は必見。未見の方は「第17回神無一族の氾濫」第4番 (<http://k7ro.abz.jp/overflow.html#17>) を、ぜひご覧ください。

占魚亭さん

華々しい応酬で楽しい作品。

■ 37-5 たくぼん氏作 (正解3名)

キルケ協力詰 11手

												一
												二
												三
												四
												五
												六
												七
												八
												九

持駒 香

【解答】

99 香 98 金 同香/61 金 97 金 同香 85 玉
96 金 94 玉 86 金 95 歩 同金/93 歩 まで 11 手

(詰上り)

												一
												二
												三
												四
												五
												六
												七
												八
												九

持駒 なし

【作者のコメント】

キルケ特有の最後の1手をお楽しみ頂ければ。

【解説】

香1枚では詰みそうにないので、香で合駒を稼ぎに行きますが、その合駒が問題。誰でも最初は飛か角を手に入れることを考えるでしょう。しかし、角では意外と詰みにくく、飛による詰筋は83香が防いでいます。

飛や角で詰まないとなると、小駒ではなおさら詰まないように思えますが、作意の金合に続く歩合がピッタリの手順。復活した駒が邪魔駒になるのはキルケ特有の手筋です。これは、「魔女返し」と同様、キルケらしい手筋の宝庫と言えます。

なお、構図は左側である必要はありません。キルケは左右反転できないことがあるのですが、本局は左右反転しても同様の手順が成立します。左側・右側、いずれの構図を採るかは、作者の美的感覚等で決まる所でしょう。

【短評】

小峰さん

大駒合ばかり考えて大混乱。協力系でも最終手に駒取り（厳密には違うけど）をして良いというのがキルケ独特でうっかりしていた。

☆これは創作のヒントになりそうですね。そのルール特有の手筋を最終手に持ってくると、その手が盲点になり易く、作品も締まります。

変寝夢さん (※無解)

キルケなので、香打には同じ駒の連続中合が必須。9筋なので香は取れない。残り5手。最後は香を取れず詰み、と決め打ったが沈没。たくぼんさんの作は趣向以外の部分が難しい(泣)。次こそ頑張るぞ！

☆あれれ、変寝夢さんは、たくぼん作品に連敗ですか。第38回出題にもたくぼんさんの作品がありますので、ぜひ雪辱を。

占魚亭さん

金合の発見に時間がかかりました。

■ 37-6 神無太郎氏作 (正解3名)

a) 協力自玉スタイルメイト 18手

												一
												二
												三
												四
												五
												六
												七
												八
												九

持駒 桂4歩5

b) 協力自玉スタイルメイト 18手

												一
												二
												三
												四
												五
												六
												七
												八
												九

持駒 桂4歩5

【ルール】

•協力自玉スタイルメイト

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイトにする。

•スタイルメイト

王手は掛かっていないが合法手のない状態

【解答】

a)

58歩 同角生 49桂 同角生 58歩 同角生
49桂 同角生 58歩 同角生 49桂 同角生
58歩 同角生 49桂 同角生 58歩 同角生
まで 18手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
							王		七
							馬		八
							王		九

持駒 なし

b)

58歩 同角左生 49桂 同角生 58歩 同角左生
49桂 同角生 58歩 同角左生 49桂 同角生
58歩 同角左生 49桂 同角生 58歩 同角左生
まで 18手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
							王		七
							馬		八
						馬	王		九

持駒 なし

【作者のコメント】

ツインの狙いは、繰り返し現れる左右対称局面での左右対称手。着手 vs 応手。

【解説】

解くよりも意味を考える方が難しい作。

神無太郎さんは時々こういう問題作を発表されるので、解答者・解説者泣かせなのですが、今回は珍しく作者のコメントがありました。つまり a)は攻方の手番に左右対称形で左右対称の手が何度も発生し、b)は受方の手番に左右対称形で左右対称の手が何度も生じるというわけです。

前回の作品展では縫田氏による「(意味付けは異なる)同一手順」のツインが発表されましたが、今度は同じ「同一手順」でも、ちょっと視点の異なる同一手順のツインと言えそうです。もし、これに「千日手」が絡んでくると頭が痛い問題になりそうですが、この作者ならいずれそういう作品も見せてくれるでしょう

ただ、解答者の短評を見ると、作者の「狙い」は全く伝わらなかったようです。また、途中左右対称からの対称解を同一とみなすかどうかについても、個人差がありました。後者については単にルール設定の問題ですが、前者については「狙い」を単に実現するだけでなく、それを「面白い」と思わせる演出を考案することも作家には求められる、ということだと思います。

【短評】

小峰さん

主張がよくわからないが、「左右対称」に関する問題提起なのだろうか。

変寝夢さん

まあ普通に考えると不完全ですよ。でも配置が中央なのが、若干気になる。ルール解釈の問題がある場合は注釈をつけてほしいなあ。かなり不安です。

たくぼんさん

頭が悪いのか？
2作並べた狙いが分からない。
きっと何か訳があるはずだが…

■ 37-7 一乗谷酔象氏作 (正解者なし)

推理将棋『指す手がないから仕方ない』

博士「盤上の理論もいいけど、やっぱり実戦が一番。たまには一局やるか」

助手「はい。私の先手番でいいですね。では。お願いします」

・・・29 手目先手の着手の後、
30 手目後手の手番で・・・

博士「まだ、詰まされていないけど後手に指す
手がないから仕方ないね。負けました」
助手「ありがとうございました。感想戦を願
いします」
博士「ゆるめすぎたか。でも、難しい将棋だっ
たから徹底的に分析してみよう。
ふむ、この将棋は1～6の数字に関連づ
けて特徴づけられそうだ」

博士「①1 手も指せる手のないスタイルメイト
になったのは29 手目着手後、30 手目後
手番の局面だった」
助手「続けますよ。
②2 回連続して王手をかけました。
③3 回連続して不成の手を指しました」
博士「④4 回連続して玉の手を指した」
助手「⑤5 筋に駒を打ちました」
博士「そして、最後は・・・
⑥6 手目は4 手目と同種の駒の手を指し、
6 手目と同じ筋に8 手目を指した」
助手「最後の条件が苦しそうですが・・・」
博士「最短手数スタイルメイトが完璧に分
析できたな」

さて、六つの特徴のある「最短手数スタイル
メイト」とはどのような将棋でしょうか？
二人の会話を元に推理してください。

条件

- 1) 29 手目を指した局面がスタイルメイト
(30 手目の後手番で指す手がない)
- 2) 2 回連続して王手をかけた(先手の条件)
- 3) 3 回連続して不成の手を指した(先手の条件)
- 4) 4 回連続して王の手を指した(後手の条件)
- 5) 5 筋に駒を打った。
- 6) 6 手目は4 手目と同種の駒を動かし、6 手目
と同じ筋に8 手目を指した。

【解答】

76 歩 62 玉 33 角生 24 歩 22 角生 94 歩
56 角 93 香 83 角生 12 香 61 角生 84 飛
13 角生 74 飛 31 角成 13 桂 43 角成 72 玉
41 馬 83 玉 63 馬 84 玉 74 馬 95 玉 15 飛
25 歩 53 馬 62 銀 同馬 まで 29 手

(最終形)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		科								一
				馬					皇	二
皇		歩							科	三
歩		馬								四
王								歩	飛	五
		歩								六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
								飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香		九

攻方持駒金2 銀2 歩6
受方持駒なし

【作者のコメント】

亀山さんの解では、わざわざ飛車で歩を取っ
て88に捨てる手順がありました。それは玉の
隣の8筋に先手飛車を効かすためでした。また、
取った歩は手数増加なしで12に打つ形もあり
ました。

さて、本問は、亀山解に近い形ですが、後手
の駒取りはありません。飛車を取らせる場所に
2手かけて移動するのは同じですが、玉に近い
位置の74の地点で馬に取らせることで、84と
85の両方の抜け道を塞ぎます。手順は先手と後
手、右辺と左辺でそれぞれ独立性が高く、多く
の条件を付けないと非限定がなくなります。
条件が多いことを逆に利用し、2～6の数字に
関連づけて強引な条件付けとしました。条件2)
と4)で手順の骨格をつくり、後は残りの数字に
振り当てています。条件3)が9手目以降に入る
のは意外なところかもしれません。

【解説】

実戦初形から先手と後手が協力していずれか
の玉をスタイルメイトにする最短手数は何手
か。手数と手順の例を示せ。

これが今回の作品の元になった亀山杉友氏
の問題。詰将棋パラダイス2005年4月号のフ
ェアリーランドに出題されました。

単純にすべての駒を取ってスタイルメイト
にしようとする、19枚の駒を取るため、39
手以上掛かるのですが、正解例として示された
手順は何と29手！

どうすればそんな手数短縮が可能なのか、そ
の時の解答として示された手順をご覧ください。

(亀山解)

76歩 62玉 33角成 24歩 22馬 25歩
72角 94歩 83角生 93香 61角生 87飛成
43角成 88龍 13馬 72玉 31馬 83玉
41馬 84玉 88飛 95玉 15飛 62銀 53馬
13桂 63馬寄 12歩 62馬 まで 29手

(最終形)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

	科				馬			皇	一
			馬					垂	二
皇		垂						科	三
垂									四
玉								垂 飛	五
		歩							六
歩			歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	飛								八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

攻方持駒金2 銀2 歩6

受方持駒なし

「亀山解」では飛角のピンを使って2枚の駒を固定し、受方玉を敵駒の利きの中に置いて玉を固定し、そしてこの3枚で別の駒にフタをし、その駒で更に別の駒にフタをする…という配置を行って更に6枚を置いています。

当時の正解者はゼロだったそうですが、まあ普通そうでしょうねえ。手数表示なしで、この解に辿り着けるとはとても思えません。同月には神無太郎氏や森茂氏の難解作も出題されており、解答者が手数不明の作品を深く追求する余裕はなかったと思われます。

この「亀山解」、大変巧妙ではありますが、腑に落ちない部分があるのも確かです。それは一乗谷氏のコメントにある「わざわざ飛車で歩を取って」という非効率に見える手順です。詰将棋作家の感覚からすると、このような非効率は早詰順の存在を示唆するものですが、現在までこれより短い手順は見つかっていません。どうやら先手の飛車を活用するためには、非効率に見えても、これらの代償を支払わねばならないようなのです。

この疑問を「先手の飛を使わないスタイルメイトは可能か？」という問題に置き換え、実際にそれが可能であることを示したのが、今回の一乗谷氏の作品です。手順の限定のため「推理将棋」という出題形式になっていますが、本質的には、亀山解に先手の飛を使わない別解があることを示した作品と言えるでしょう。

既存作品の別解、と聞くと解くのは易しそうですが、正解者ゼロの結果が示すように、決して易しい問題ではありません。筆者も解図に挑戦してみましたが、残念ながら解けませんでした。一番難しいのは「先手の飛を使わない」と断定するところですが、そう仮定しても「どうやって後手の飛を取るか」というのが結構難しいのです。先手の条件で「3) 3回連続して不成の手を指した 5) 5筋に駒を打った」があるので、56角→83角→61角、として飛筋を通すことは見当が付きますが、通した飛筋を使って、84飛→74飛、とする筋が筆者には思いつきませんでした。今回の解答者の方がどこで躓いたかは分かりませんが、第38回WFP作品展でも一乗谷氏の作品が出題されます(本当は同時投稿なのですが、難解作のため出題時期をずらさせて戴きました)ので、今回の解答を参考にし、ぜひ正解を目指してください。

【総評】

小峰さん

諸懸案が一段落して解答復帰です。宜しくお願ひします。

☆小峰さんもようやく落ち着いて詰将棋に取り組める状態になったようで、なによりです。詰将棋は心にゆとりがないと、なかなか集中して取り組むことができません。来年は外的な要因に左右されず、なるべく多くの詰将棋人が安心して詰将棋に取り組めることを祈りたいと思います。

変寝夢さん

37-6が相当気になってます。桂を右から左から交互に打たなければいけない理由でもあるのかな。結果が楽しみです。

☆37-6の解答、いかがでしたか？

ご納得戴けたかどうか、かなり不安ですが…

たくぼんさん

37-7を除いて難易度が程よく楽しめる作品展でした。

☆第38回も一乗谷氏の作品が出題されますので、たくぼんさん頑張ってください。

以上

Fairy of the Forest#29結果発表

- 2011年09月20日：課題発表：(協力詰)
- 3回以上の連続合駒(移動合も可)
- 2011年10月15日：投稿締切
- 2011年10月20日：出題
- 2011年11月15日：解答締切
- 2011年11月20日：結果発表

■ 結果発表

【今回の解答者】

(敬称略、到着順、○は全題正解者)

- 神無七郎、○小峰耕希、変寝夢、
- たくぼん、○占魚亭

■ 29-01 神無太郎 協力詰 9手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四										
五										
六										
七								銀		
八		飛	王	歩	歩	歩				
九	龍						王	銀		

持駒 なし

79 飛 69 金 同飛 59 金 同飛 49 金
39 金 19 玉 29 金打 まで 9手

☆かつては短編ばか詰の合駒物で鳴らした作者、課題が出て間もなく作品が送られてきました。本作は3連続金合です。

たくぼんーお見事金の3連合。先手も入れると5回金打ですね。

占魚亭ー簡単でしたーと言いたいところですが、金合に気付くまで1分くらいかかりました(苦笑)。

七郎ー王手を掛けないための最後の金合が巧い。同じような構図で連続銀合もできそうですね。

☆48王として2枚の銀を角にすれば、49の合駒を銀にできますね。もちろん金に統一する方がベターですが。また、連続銀合の図も作者から提供がありました。参考図として掲げておきます。3連続銀合でないのが残念ですが……。

協力詰 9手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四										
五										
六										
七						銀			銀	
八						王	歩			
九		龍					王	銀		

持駒 飛

69 飛 59 銀 同飛 49 銀 同飛 39 金
38 銀 18 玉 27 銀打 まで 9手

小峰ー「AWAKEN X」(詰バラ 2006.12)を思い出した。

☆「AWAKEN X」は同じ作者の下図。詰手順は伏せておきますので、ご一考を。

(神無太郎：協力詰 11手)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	銀									
二										
三										
四										
五										
六										
七	王				歩	金			銀	
八		銀	桂		歩	銀				
九		銀			王					

持駒 角2

変寝夢ー最善なんだろうけど、右辺の塊がちょっと残念。

☆減らすのは無理そうですね。99龍も飛だと

49 飛生の筋で余詰みます。

■ 29-02 神無太郎 協力詰 9 手

持駒 なし

78 角 67 桂 同角 56 桂 同角 45 桂
26 桂 24 玉 36 桂 まで 9 手

たくぼんー構成が同じ桂編ですね。全て頭が丸い駒の手なので坊主詰かな。

☆今度は3連続桂合です。5回桂打も前局と同じ構成。

占魚亭ー桂合がなかなか浮かばず、最後まで残りました。

七郎ーこれも最後は王手を掛けないための桂合。角との違いを収束3手であっさり表現したのが好感触。

小峰ー6手目が入ってとりあえず作品になっている。

☆ここの桂合の意味付けは巧いですね。

変寝夢ー何故かこちらは塊が気にならない。でも角は89から行きたいな。

☆前局と違って、全体的に配置が散らばっていない所為でしょうか。角位置は、王手駒に対する接触合という点を考慮したのだと思います。前局もそうになっているし。

☆作者から参考図（山田嘉則作・協力詰9手／詰パラ1983年6月）の紹介がありました。こちらも手順を伏せておきますので、ご一考ください。

(山田嘉則・協力詰9手)

持駒 香

■ 29-03 たくぼん 協力詰 31 手 (後手持駒=歩12)

持駒 角

64 角 55 歩 同角 46 歩 同角 37 歩
同角 18 玉 19 歩 27 玉 28 歩 38 玉
39 歩 同玉 48 角 28 玉 39 角 37 玉
48 角 46 玉 37 角 35 玉 26 角 24 玉
25 歩 33 玉 15 角 23 玉 33 角成 14 玉
24 馬 まで 31 手

占魚亭ー歩を使い切った後の手順に少し悩みました。軽快で楽しい作品だと思います。

☆合駒は歩しかないし、着手も限られているので考えやすいですが、3連歩合を入手した後の手順にちょっとした落とし穴が……。

変寝夢ー42玉、33歩成までは20秒ぐらいだがそこから詰まない。残り8手なのに(T_T)。

☆この感想の意味が最初分からなかったのですが、下の評を見て納得。ただ「残り8手」というのは、2手少なく数えられているようですが。

小峰—何度考えても非限定満載 33 手しか思い浮かばず、変だなあと考えていたのだが、原因は 12 手目 37 玉ばかり考えていたせい。角を残す方が普通なのだが、何故か盲点に入っていた。

☆12 手目 37 玉だと上部に歩で追うことにはなりますが、やはり角で追う方が普通ですね。ところで、その上部の配置に問題が……。

七郎—この収束のために 3 枚配置するのは勿体ない。しかも 29 角は不要…締切に追われた結果？

作者—橋本氏の御指摘の通りです。1 つの非限定 (27 手目) の為に駒 3 枚配置で限定しました。時間までにそれより良い案が浮かびませんでした。それにしても 29 角不要はショックでした。いつもと同様、必要駒だった 29 角が改作していくうちに不要になったものです。最後に確認怠りました。

☆「27 手目の非限定」とは、15 角の所で 44 角も成立すること。それを攻 44 歩で防ぐと、今度は 35 角、33 玉、24 角、32 玉、43 歩成以下の余詰および前述の 12 手目 37 玉以下の余詰が生じてしまい、2 枚のと金が必要になる……という、何とも厄介な事情なのです。それは措くとしても、29 角の不要は痛かったですね。

作者—29 角は削除でとりあえず修正します。

☆ とのことです。上部 3 枚の配置もどうにかなると良いのですが……。

■ 29-04 小林看空 協力詰 47 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								銀	一
馬		銀	金	金			歩	二	
	香	歩	香	歩		王		三	
			歩	歩				四	
						王	歩	五	
王			角		歩	歩		六	
	歩				歩			七	
								八	
				入				九	

持駒 香

19 香 18 歩 同香 17 桂 同香 16 桂
同香 15 桂 同香 14 桂 同香 24 玉
16 桂 15 玉 27 桂 16 玉 28 桂 27 玉
39 桂 28 玉 29 歩 39 玉 93 馬 84 桂
同馬 75 桂 同馬 66 桂 同馬 37 桂
同馬 48 と 同馬 同玉 49 歩 57 玉
69 桂 56 玉 68 桂 65 玉 66 歩 75 玉
67 桂 84 玉 76 桂 74 玉 86 桂 まで
47 手

☆今回の最長手数作品ですが、歩桂以外の駒が出尽くしているのも、それほど難しくありません。1 回目は、香に対する縦 5 連合。舞台を移しての 2 回目は、馬に対する斜め 5 連合です。合駒部分はもちろん、途中の四桂連打や四桂による収束にも、7 連合等で磨かれた作者の力量が存分に発揮されています。

七郎—四桂連合、四桂連打、四桂連合…存分に楽しませて貰いました。こんな離れ業をあっさりやってしまう作者の創作力が凄い！

小峰—ほぼ一本道で解くのは簡単。攻方王にピン以外の役割もあるのは好感が持てる。

☆詰上り図を示しておきます。収束途中で逆王手もあってちょっと慌てますが、66 歩で巧く回避、四桂を活用して詰上ります。

(看空作詰上り図)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								銀	一
		銀	金	金			歩	二	
	香	歩	香	歩		王		三	
		王	歩	歩				四	
					王	歩		五	
王	桂	桂	歩			歩	歩	六	
	歩		桂			歩		七	
								八	
			桂	歩		歩		九	

持駒 なし

たくぼん—桂の 4 連合+1 枚の 5 連合×2 回ですね。取った桂をうまく処理して再利用。かしこ詰だと鬼のような変化になるのですが、協力詰だと簡単なのがうれしいですね。

占魚亭—前半と後半の、合駒の順と持駒を打つ

順の対称がミソでしょうか。

☆確かにこの対称性には様式美を感じます。

作者－49 と金の移動合のところを歩の合駒にしたいところですが、本意ではないので。ねらいは桂馬の連続合が二回です。

☆「49 と」がないと余詰多数なので、歩合にするのは難しいのでは？ 「28 と」を置いて2手目を移動合にすることは可能で、合駒構成の対称性もより明確になるのですが、それが「本意ではない」ということなのかも知れません。

変寝夢－歩＋4桂連合と4桂連合＋と移動合までは2分ぐらいだが詰まない。残り10手ぐらいなんだけど。94 辺りで詰むのかな？

☆これは惜しかった。馬を切ってからが少し難しかったですか。

【総評】

七郎－今回は投稿の方で貢献できませんでした。最近はおっぱら「書く人」だったので、そろそろ作る方の調子を上げたいと思います。

☆執筆活動、お疲れさまです。文章とともに作品の方も楽しみにしています。

小峰－2006 年前後の作品を一番よく覚えているせいもあって、このテーマだと萩絵さんの作品（氾濫 25-03、詰パラ 2006.06）を思い出します。

☆萩絵作に興味を持たれた方は下記サイトをご覧ください。7連合2回の傑作です。

http://www.abz.jp/~k7ro/overflow/hr25_r.pdf

変寝夢－テーマが具体的だと、作家の方も創りやすいんじゃないかと思います。全部面白かったです。解けてないけど……。

☆創作の方も期待していますよ。

なくぼん－自作以外は素晴らしい作品群でした……（泣）

☆ううむ……。リベンジに期待します。

Fairy of the Forest#30課題発表

- 2011年11月20日：課題発表：（協力詰）
双方不成
- 2012年01月15日：投稿締切
- 2012年01月20日：出題
- 2012年02月15日：解答締切
- 2012年02月20日：結果発表

■ 課題発表

とにかく時間がない！ #29の結果稿も大慌てで作りました。作品課題の方も森氏の作品を参照する暇もなく、ほとんど思いつきで決めました（こんなことでいいのかな？）。

「攻方受方双方不成」とします。「3種以上の不成」とか「複数駒の不成」とかも考えたのですが……。

締切は新年1月の15日です。常連の方以外のご投稿もお待ちしています。

（投稿先）

→酒井博久（sakai8kyuu@hotmail.com）

実際には、設計図通りではなく、若干の手直しが必要になったのだが。

某所に書いている超不定期日記から。

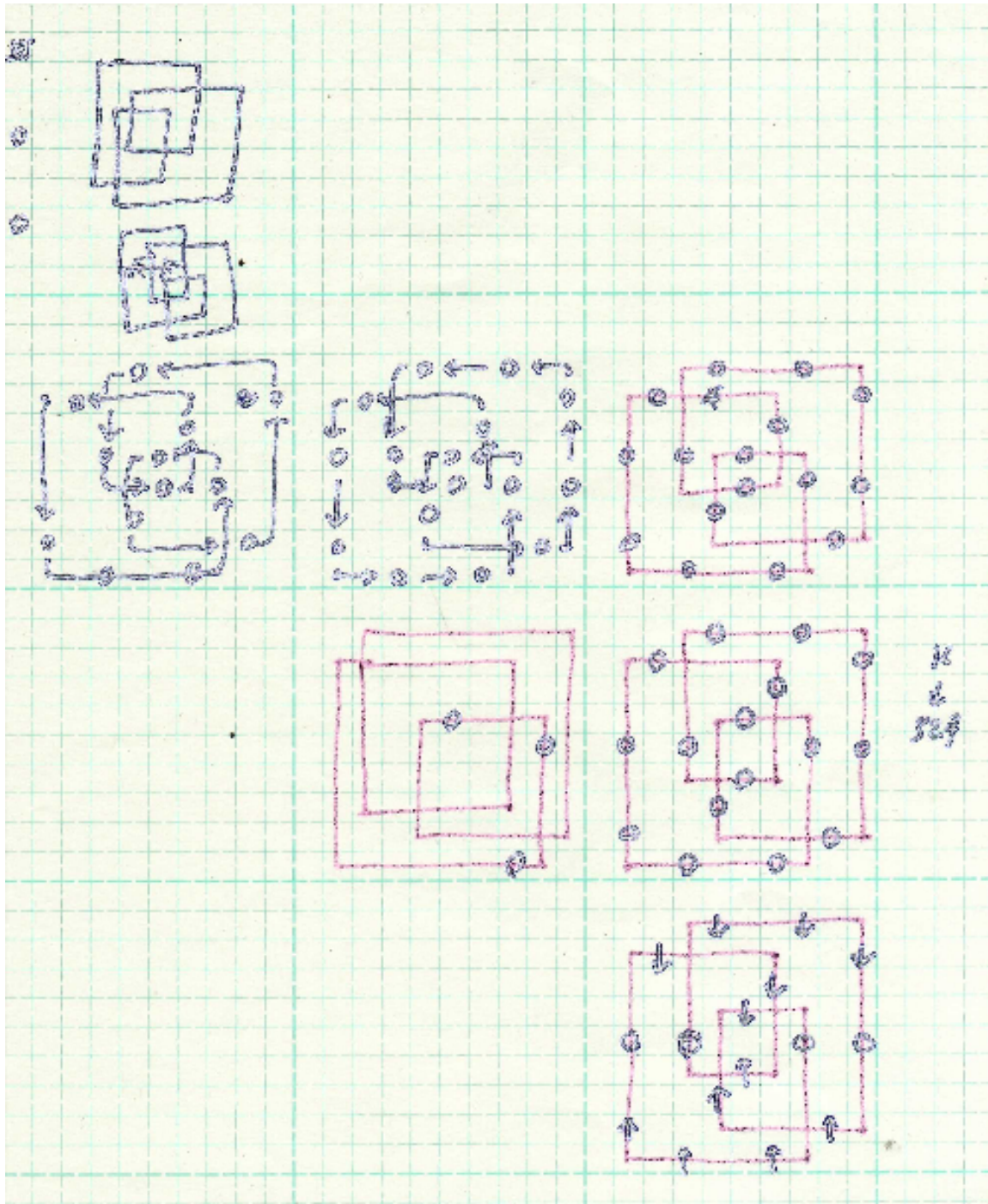
2011年7月9日 詰将棋の設計

詰将棋の創作時には設計図を書くことがある。その一例がこれ。昨夜、寝る前に（寝ながら）書いたもの。左上から始まって、右下が最終版。

グラスホッパー王ばか千日手 32手

			歩		歩			一
	歩				王		歩	二
				歩				三
			歩					四
歩	桂				桂	桂		五
		G	歩					六
			歩					七
桂						歩		八
		歩		歩			駒	九

持駒 なし



WFP第40号掲載の第36回WFP作品展結果稿についてのコメントです。

■ 36-4

3手目から始めた方がいいように思える、という件。

実は投稿する少し前まで3手目の局面が投稿予定図でした。

打歩ばか詰 27手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
					角	角	歩		六
					銀	香	王		七
					龍	金		香	八
					龍	香	歩	王	九

持駒 香

最終的に「玉が向かい合う初形」にしたのは、1筋の2枚の玉、2筋の2枚の歩、3筋の2枚の香、4筋の2枚の金物、六段目の2枚の角、斜めに並んだ2枚の龍飛、持駒の2枚の香、と完全な調和を生み出すことができると思ったからです。この思いは今でも変わりありません。

■ 36-5

七郎氏が思い出したのは、箱男（小林看空）氏のばか自殺詰、という件。

創作前に作者の頭の中にあったのは、山田嘉則氏のばか詰。

1983年8月 詰将棋パラダイス
山田嘉則氏作

ばか詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
						馬		銀	王	一
							龍			二
						桂	王			三
										四
										五
										六
										七
									歩	八
										九

持駒 飛 香

17香 16金 15飛 同金 同香 14飛 12銀
同飛引 21金 まで 9手

もっと正確に言うと、小林看空氏によるその逆算案でした。

ばか詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
						馬		銀	王	一
							龍			二
						桂	王			三
										四
										五
										六
						龍				七
										八
									歩	九

持駒 香

18香 17龍 同香 16金 15飛 同金 同香 14飛
12銀 同飛引 21金 まで 11手

やっぱり、看空感覚なんですかね。

ところで、山田作には長年の疑問があります。それは21の銀配置。角にすれば7手目の成生の非限定は解消できるのに、なぜ銀のままなのか。その答えはいつかお会いしたときに直接聞こうと思っています。

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

12月15日(木)

第38回WFP作品展

投稿募集

第2回フェアリー短編コンクール

投稿締切：2011年12月4日
手数・ルール：6手以内のフェアリー作品。
出品数：1人2作以内。

詳細は先月号P19をご覧ください。

年賀詰（フェアリー作品）募集

投稿締切：2011年12月15日
手数・ルール・投稿数：不問
課題：年賀詰（来年は辰年）
発表：年賀詰として12月号（42号）で発表

*現在投稿数2作

第12回詰四会フェアリー作品展

投稿締切：次回詰四会開催日（1月下旬）まで
手数・ルール・投稿数：不問
課題：natsuo氏結婚祝賀
発表：WFP44号（H24/2）

【あしがき】

第37回WFP作品展の37-7の一乗谷酔象氏作の29手でスタイルメイトの作品。作者からぜひ解いて下さいとエールを頂きましたが結局解くことが出来ず、申し訳ない結果になってしまいました。

解図の状況を書くと、この詰上り（P15参照）までは辿り着いておりましたし5筋の駒打ち

56角も予想通りでしたが84飛～74飛の発想が全く浮かびませんでした。作品の解図ポイントは84.85の押さえ方ですので74馬が合理的だと思ったのですが、手順構築出来ず、77馬、同桂とか11の香を取って86香とか考えましたが結局29手に収まらずアウト。結果発表を見て結構近いところまで辿り着いていたことが分かりましたのでそれはそれで悔しいところです。今月の第38回WFP作品展でさらに難易度の高い作品が出題されています。先月の反省をふまえて今月はぜひ正解を入れたいと思っています。

今月の詰パラ11月号のフェアリーランドですが、6番はなかなか面白い作品でした。詰備会で皆さんと一緒に考えたのですが、ぱっと見全手順限定というのが信じられませんでした。しかし並べていくうちに実に旨く精巧に組み立てられていることが分かり納得しました。5番はどうも40手もかからず（先手が）詰んでしまいますので早詰？という気がするのですが、最近ポカが多い私ですので読み落ちがあるかもしれませんね。もう一度読み直しをして作意も探してみたいと思っています。

それにしてもあつと言う間に今年もう終わりそうですね。来月の氾濫と短コン（WFPですもちろん）年賀詰めで今年も終わりです。まだ短コン用作品が出来ていませんのでそちらにパワーを注入して何とか今年を締めくくりたいと思います。

たくぼん

2011年 第41号

Web Fairy Paradise

非売品
平成二十三年十一月号
平成二十三年十一月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市
発行兼編集人 須川卓二
発行所 Web Fairy Paradise 編集部
問合先